

12月 定例議会を12月1日から2日まで開きました。

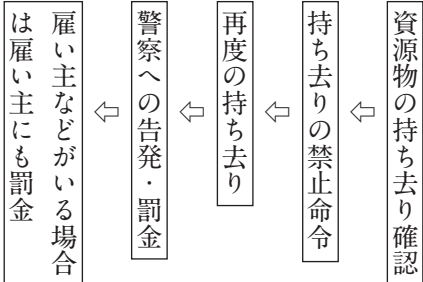
条例の改正や補正予算などについて慎重に審議しました。ここでは主なものを紹介します。
(各議案の審議結果は5ページに掲載しています。)

条例制定・改正

資源物持ち去りに 罰金

資源回収ステーションの巡回や防犯カメラでの確認などにより、排出された資源物を持ち去った者に対して、20万円以下の罰金に処することになりました。持ち去り者に雇い主などがいた場合は、雇い主などにも同額の罰金に処します。この罰則は周知期間を経て、令和4年7月より適用します。

罰金に処する手順



国民健康保険税の 軽減

子育て世帯の負担軽減を図るために国民健康保険加入者のうち、未就学児にかかる均等割額を令和4年4月から半額に軽減します。

未就学児に対する負担額		
世帯の課税状況	現在の負担額	軽減後の負担額
7割軽減世帯	3割負担	1.5割負担
5割軽減世帯	5割負担	2.5割負担
2割軽減世帯	8割負担	4割負担
軽減なし	10割負担	5割負担

国民健康保険 出産育児一時金 の変更

出産育児一時金の額を増額します。併せて、出生時に出生児が脳性麻痺になったときに出生児と家族に対する産科医療補償制度の加算金が減額となるため、支給総額の変更はありません。

	本来分	産科医療 補償制度 に加入する 医療機関 など加算額	合計
改正前	40.4万円	1.6万円	42万円
改正後	40.8万円	1.2万円	42万円

寺迫レジャー農園 廃止

土地所有者から土地の返還要望があり、土地を返還することとなったため、令和3年12月31日をもって寺迫レジャー農園を廃止しました。レジャー農園は、曙町の1か所だけになります。



ここだけになります(曙町)

発議

シルバー人材センター への支援を求める 意見書及び決議 賛成多数で可決

内容

シルバー人材センターは、人口減少、少子高齢化が進展している中、誰もがいつになっても活躍できる社会の実現に貢献している。国においては、令和4年度のシルバー人材センターに対する補助金の確保と、安定的な事業運営が可能となる措置を要望する。

また、町においては、令和4年度のセンターに対する国の補助金と同額以上の補助金の確保と事業発注の確保について、強く要望する。

豪雨災害復旧・ 復興の早期実現を 求める要望決議 賛成多数で可決

内容

平成30年7月豪雨災害で被災した三迫川上流において、令和3年7月の大雨で、護岸の一部破損が確認され、再び仮復旧の間隔がかかる悪循環になっている。中小の工事業者をかき集めてでも予定どおり災害復旧工事完了を目指すべきである。

豪雨災害による被害について、被災地域の日も早い復旧・復興が実現できるよう、執行部は町長を筆頭に総力を挙げ、全力で災害復旧・復興工事に取り組むよう強く要望する。

反対討論

一日も早く復旧すべきとは思いますが、入札辞退や、地元調整などで工事が進まない中、執行部は相当の努力をし、復旧工事に取り組む、議会にも説明してきた。中小工事業者をかき集めても工事をすべきだというのは、一定の品質を確保する観点から問題だ。議会としてこれ以上強く要望するのは適切ではない。

玉川 真里 議員

賛成討論

執行できない予算なら組む必要がなかった。予算の執行と、2次・3次災害の防止の意味からも早い完成を要望する。

前田 勝男 議員

賛成討論

災害復旧で、不調の工事について、ランクを落として落札業者を決定したことがあるので、反対する理由にならない。

下岡 憲国 議員

補正予算

一般会計 新庁舎、新型コロナウイルス対策などに
5億9456万円
主な内容は次のとおりです。

新庁舎建設 (電気・機械) 3390万円

新庁舎の建設に係る電気工事費と機械工事費について、令和3年度分の予算を決めました。この工事は令和5年度までで、総額で約9億1000万円の予定です。

キャンプ場 進入路整備 400万円

海田総合公園キャンプ場の進入路拡幅工事について、土壌の入れ替えが必要となったため、工事費を追加しました。工期は、令和4年3月24日までです。



この土が使いません